

馬主だより

第 6 3 号

平成 26 年 3 月 7 日
発行 (一社)ばんえい競馬
馬主協会事務局

☆新年度運営見直しによる消費税増税抑制と払戻し率の見直し !!

▼暦ではもう 3 月、何かと気忙しい年度末を迎えておりますが、雪解けも進み季節も冬から春に徐々に向いつつあります。ここ帯広十勝では、例年になく雪の少ない冬でありました。このまま雪を見ずに春を迎えたいものです。▼さて、いよいよ来月からは消費税率が 8%に増税となります。競馬主催者にとっては、負担が重くのしかかりますが、帯広市は 2012 年度決算を基準にした消費税増税分の負担が 6 千万~7 千万に上ると試算し、新年度に向け運営方法の見直しなど様々なコスト削減で 2 千万~3 千万の負担に抑えたいとの考えを示しております。▼一方、新年度からは払戻し率も見直されますが、先日、地方競馬の盛岡、水沢、大井、川崎、名古屋、笠松、金沢、高知、佐賀の各主催者が、売上金に占める当たり馬券の払戻金の割合(払戻率)を 4 月以降、変更すると発表しました。売り上げの減少が続く地方競馬の払戻率を 70~80%の範囲内で柔軟に設定できるように見直した改正競馬法の 4 月施行を受けた措置で、いずれの主催者も現在は平均で 74~75%程度となっている払戻率を、単勝と複勝は 80%、枠複、枠単、馬複、馬単、ワイドは 75%、三連複、三連単は 72.5%などとする。佐賀のみ三連複は 75%に設定する。▼ばんえい競馬でも概ね他地方競馬と同じように検討されているようです。近日中には正式に発表となる見通しですが、果たして今後の売り上げにどのような影響を与えることになるのか、その動向を注視して行きたいと思っております。

平成 25 年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催 143 日間

CB 事業推進課投票グループ 資料提供

平成 26 年 3 月 3 日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成25年度			平成24年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	143	1,468,920,000	1,456,281,800	143	1,526,472,000	100.87	96.23	
直 営 場 外	旭川北彩都	143	924,378,100	924,146,000	143	941,501,700	100.03	98.18
	ミトスポット北見	143	439,866,000	442,297,100	143	460,137,300	99.45	95.59
	ハロンス岩見沢	143	288,694,100	287,279,900	143	362,019,900	100.49	79.75
	ハロンス釧路	143	120,284,000	121,907,000	143	148,458,300	98.67	81.02
	ハロンス名寄	143	144,925,500	144,479,400	143	172,531,200	100.31	84.00
	アプスポット網走	143	141,656,100	142,743,800	143	128,931,700	99.24	109.87
	琴似駅前	143	106,697,600	106,589,600	45	26,238,900	100.10	406.6
	イルムふかがわ	84	87,720,100	86,508,000	—	—	101.40	—
電 投	オッズパーク	143	3,501,869,700	3,515,763,600	143	2,919,852,200	99.60	119.93
	OP(七重勝)	143	49,953,700	78,207,200	39	30,474,500	113.48	163.9
	OP(五重勝)	143	38,797,400		143	87,211,000		44.49
	競馬モール	143	1,978,615,600	1,986,671,800	143	1,418,622,100	99.59	139.47
広域場間場外	—	1,565,111,500	1,542,900,500	—	1,583,102,200	101.44	98.86	
場外・電投計	—	9,388,569,400	9,379,493,900	—	8,279,081,000	100.10	113.40	
合 計	143	10,857,489,400	10,835,775,700	143	9,805,553,000	100.20	110.73	
1日平均		75,926,499	75,774,655		68,570,301	100.20	110.73	

平成 25 年度該当開催 (ばんえい競馬第 1 回 1 日目~第 24 回 6 日目まで 143 日間)

平成 24 年度該当開催 (ばんえい競馬第 1 回 1 日目~第 24 回 6 日目まで 143 日間)

会議等の様子

○ 平成25年度第6回執行役員会を開催！！

～報償費改定に伴う必要財源や報償費の執行状況等を確認～

平成 26 年 2 月 16 日(日)午後 1 時 30 分から当協会事務局会議室において、平成 25 年度第 6 回執行役員会を開催。

先日、主催者から通知があった報償費改定に伴う必要財源や今年度第 22 回開催までの発売状況及び報償費の執行状況等についてはばんえい十勝となった平成 19 年度以降過去 6 年間の推移と今年度の現状を確認いたしました。

また、新年度の賞金振込業務に係る受託事務手数料の改定や調教師、騎手の進上金振替口座の変更要請など懸案の事項についても審議いたしました。

更に、今年度最終の臨時家畜市場については、これまで馬の取引価格が前年と比較し上昇傾向にある中で、既存市場や相対取引等により、既に競走馬が相当数減少し、加えて 2 月下旬には十勝音更市場も予定されていることもあり、当会で開設する市場に頭数が見込めないとの理由から、協議の結果、中止せざるを得ないという結論に至りました。

なお、役員会終了後、引き続き帯広市ばんえい振興室から、今回の報償費(賞金額及び出走手当の増額)改定に至った経緯や内容について改めて説明がありました。

帯広市は、当初より今年度の売り上げが前年度よりも落ち込むとの見通しから、予算を抑え目に設定し、その影響で古馬の出走手当は一出走目 31,000 円のスタートとなりました。

年度途中において発売額が予算を上回って順調に推移している状況が続いたことから、これまで当協会では再三再四に亘、出走手当の増額を求めてまいりました。

その結果、第 13 回開催からは 34,000 円に、更に第 24 回開催以降については、35,000 円にまで増額となりました。当協会で作要求してきた金額にはまだまだ至ってはおりませんが、今後に向けても安定的な競走馬確保のため、発売額の増加とともに出走手当の更なる増額を期待いたします。

【執行役員会議事】

- (1) 報償費の改定について
- (2) 平成 26 年 4 月以降消費税増税に伴う賞金引取り受託料の改定について
- (3) 調教師、騎手進上金の振替口座変更要請について
- (4) 今年度最終臨時家畜市場について
- (5) その他
 - ① 道銀本支店(帯広支店を除く)の馬主報償金振込手数料減額交渉結果
 - ② 一般社団法人変更登記申請完了(理事の変更登記)
 - ③ 嘱託職員の採用について(退職に伴う補充)
 - ④ 平成 25 年度第 4 回理事会の日程について
 - ⑤ ばんえい競馬が果たしてきた地域経済への貢献と経済波及効果及び税収効果

○ ばんえい十勝調教師会、騎手会へ協力要請！！

～平成26年度開催に係る進上金振込口座の変更～

平成 26 年 2 月 16 日(日)に開催された執行役員会終了後、ばんえい十勝調教師会、ばんえい十勝騎手会に対して、それぞれ平成 26 年度ばんえい競馬開催に係る進上金の振込口座について、現在の北海道銀行(以下「道銀」という。)旭川支店から道銀帯広支店に変更

するよう協力を要請しました。

このことについては、新年度に向け当協会の賞金管理口座を道銀旭川支店から道銀帯広支店に移管することに伴う要請で、当該進上金については、当協会が各馬主から委任を受け、開催毎に賞金から控除し各調教師、騎手へ口座振込払いをしていることから、帯広支店に口座を変更してもらうことで、当協会としても振込手数料が一切かからないというメリットがあります。

要請の結果、両会とも主旨をご理解のうえ来年度に向け、口座を変更することを了承いただきました。

情報・ご案内

○ “ばんえい競馬”新年度から馬券の払戻率変更へ！！

～投票方式別に70～80%の範囲で変更を検討 増収を図る～

帯広市は、新年度のばんえい競馬開催に向け、馬券売上げに占める当たり馬券の払戻金の割合（払戻率）を4月から変更する方針で現在、その変更の内容について検討しています。

払戻率の変更は、2012年に成立した競馬法改正に基づいて行うもので、改正法では、競馬主催者ごとに払戻率が70%から80%の範囲内で柔軟に運用できることとなりました。

現在の払戻率は投票方式に関係なく一律75%ですが、市は観光客など初心者が気軽に楽しめるよう、的中率の高い単勝式・複勝式については払戻率を上げる一方で、的中率の低い三連勝単式など売上げに占める割合の多い馬券については、払戻率を若干下げる方向で検討しています。

ばんえい競馬発売額はここ数年概ね100億円超ですが、仮に払戻率を投票方式に関係なく一律1%下げることによって約1億円の増収が見込めることとなりますが、一方では、配当金が少なくなるために魅力の低下や発売額減少が懸念されておりますので慎重な判断が必要です。

このことから、帯広市は投票方式によって弾力的に払戻率を変えて設定することで、ファンにとっては様々な選択肢が増え、結果、新たな魅力向上を図る狙いがあるようです。

○ 2014年度ばんえい競馬 4月13日(日)ナイター開催により開幕 “今年度同様の26開催153日間”を計画！！

帯広市は来年度の開催回数及び日数について、今年度と同じ26開催153日間を計画しています。

開催日程案では、4月13日(日)ナイターで開幕し来年の3月30日(月)まで、今年度同様にナイター、薄暮、デイ開催など時期によって発売時間帯を変える年間計画を立てています。

この日程案については、現在、場外発売の協力体制なども含め他地方競馬主催者と協議調整中であり、計画が変更となる場合もあります。

なお、開催日程や開催計画の概要等については、帯広市から決定通知があり次第、改めてご案内いたします。

■【開催日程案の概要(計画)】

- ・平成 26 年 4 月 13 日(日)～平成 26 年 11 月 17 日(月)
【ナイト開催(最終レース 20:40 発走)】 95日間
- ・平成 26 年 11 月 22 日(土)～平成 26 年 12 月 22 日(月)
【ナイト開催(最終レース 19:40 発走)】 15日間
- ・平成 26 年 12 月 27 日(土)～平成 27 年 1 月 5 日(月)
【デイ開催(最終レース 17:40 発走)】 8日間
- ・平成 27 年 1 月 10 日(土)～平成 27 年 3 月 16 日(月)
【薄暮開催(最終 18:40 発走)】 30日間
- ・平成 27 年 3 月 21 日(土)～平成 27 年 3 月 3 日(月)
【デイ開催(最終レース 17:40 発走)】 5日間

○ **帯広市 議会で今後三箇年の収支見通しを示す！！**

14年度収支均衡 15年度1千百万円黒字 16年度2百万円黒字

帯広市は、平成 26 年 2 月 14 日に開催されました、市議会産業経済委員会において、ばんえい競馬の中長期的な経営方針として 2012 年 3 月に策定した「ばんえい競馬運営ビジョン」の見直し案では“帯広市は、ばんえい競馬主催者として経営責任を担う”ことを明記。(前回の 1 月 21 日開催の委員会で示した)

これに合せて、ばんえい競馬の 2014 年度から 2016 年度までの三箇年の収支見通しを明らかにしました。

説明によると、本年 4 月からの運営方法の見直しによる経費削減、払戻し率の変更、消費税増税の影響を踏まえ、また、15 年度には、場外発売所一ヶ所の新設等を盛り込み試算。

その結果、14 年度は収入と支出がともに 113 億 8,300 万円で均衡。15 年度は 115 億 5 千万円の収入を見込み 1,100 万円の黒字。16 年度は、馬券販売額の落ち込みを考慮し収入を 114 億 2,900 万円にとどまり、黒字額は 200 万円に縮小するという収支見通しを示すことで、継続かつ安定的な運営を目指します。

○ **米沢市長 “ばんえい競馬今後も赤字補てん行わない”一方
で“競馬場老朽化将来に向け布石を打つ”必要性を示唆！**

米沢 則寿帯広市長は、平成 26 年 2 月 21 日の記者会見で、新年度予算案について説明。その中でばんえい競馬に関しては、今後においても一般財源で赤字補填は行わない考えを示しました。2007 年度に同市単独開催へ移行する際、当時の砂川 敏文市長が示した方針についての認識を明らかにしました。

一方で、帯広競馬場の施設老朽化については、「将来に向けての布石を打たないといけない。市民や議会と相談しながら進めていく」と述べ、将来的に設備投資への財政支援には含みを持たせる説明がありました。

○ **新馬登録申請頭数 2月末現在 199頭！**

新年度の馬登録申請について、先日、2 月末日が締切日となっていました申請数は、199 頭となりました。(去年同期 268 頭)

今後、当該申請した馬については、3 月 12 日(水)、3 月 13 日(木)、3 月 26 日(水)、3 月 27 日(木)の 4 日間(いずれも午前 9 時から正午まで)で帯広競馬場装鞍所において馬登録検査を実施いたしますが、日程ごと厩舎ごとに検査時間があらかじめ決められています。

詳細については、申請時の調教師にご確認ください。また、登録検査に際しては、下記の注意事項を遵守されますようお願いいたします。

なお、第1回能力検査受検馬の申請は締め切りでしたが、第2回目以降能力検査を受検する馬については、随時、申請を受け付けておりますので、地方競馬全国協会駐在員(帯広競馬場内)まで申請ください。

■【登録検査時の注意事項】

- ① 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
- ② 検査時は、必ず馬に轡(くつわ)を装着してください。
- ③ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
- ④ 検査当日、現地(競馬場)での申請受付は一切いたしません。

○ 今年度最終臨時家畜市場 中止のご案内

～今後 市場の日程やあり方について見直し検討へ～

今年度、3月中旬に帯広競馬場で開設を予定しておりました臨時家畜市場ですが、当該市場への出場頭数が見込めないとの理由から、中止せざるを得ないという結論に至りました。

なお、例年、第1回能力検査翌日に開設しておりました臨時家畜市場の時期や今後市場のあり方などについても、抜本的に見直し検討をすることとなっておりますので、新年度に向けての市場開設日程などについては、後日、改めてご案内いたします。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
1月26日	第24回 ヒロインズカップ	ダイリンビューティ	早坂 末光	小林 長吉
2月16日	第39回 黒ユリ賞	キサラキク	梅津 茂雄	村上 慎一
3月2日	第35回 チャンピオンカップ	キタノタイショウ	木下 英三	服部 義幸

優勝おめでとうございます！！

◆ 第24回ヒロインズカップ(4歳以上牝馬オープン)

単勝2番人気のダイリンビューティが優勝。2010年のばんえいオークス以来となる、重賞3勝目を挙げました。

昼過ぎから降り始めた雪の影響で徐々に馬場水分は上がり、4.2%でゲートオープン。ニシキウカイが外にモタれて最後方からとなり、道中もやや出入りの激しい展開に。コマクイン、ダイリンビューティ、ユーファンタジーあたりが代わる代わる先頭に立ちながら第2障害を迎えました。

ひと呼吸入れたのち、各馬一斉に登坂開始。なかでも抜群のかけを見せたのがコマクインとダイリンビューティで、並んで障害を突破。やや遅れてニシキウカイとアアモンドマツ

カゼがクリアし、以下ニシキエース、タケノビジンと続きました。

先頭争いは残り 30 メートル付近でダイリンビューティが抜け出して独走態勢を築き、早くも決着がつきそうな勢い。コマクインは脚どりが重く、残り 20 メートルを切ったあたりでストップ。こうなれば、もうダイリンビューティの独壇場で、最後までしっかりと脚どりで歩き、ゆうゆうと先頭で荷物を運び切りました。コマクインは後半も苦しみましたが、他馬の追撃を何とか振り切って 2 着を確保。3 着にはニシキウカイが入線しました。

ダイリンビューティはこれが重賞 3 勝目。積極的にレースを運びながら最後までしっかり歩き切る、完璧なレースで牝馬の頂上決戦を制しました。一度は世代の牝馬の頂点に立った同馬が、いよいよ本格化してきた印象。今後、牡馬を相手にどんなレースを見せるか要注目です。

コマクインはこれで 3 度目となる重賞 2 着。勝ちみに遅い印象は拭えませんが、軽快なスピードがあるだけに、馬場や重量に恵まれた際には牡馬を相手に好勝負を演じて不思議ではないでしょう。引き続き目が離せない 1 頭です。

◆ 第 39 回黒ユリ賞（3 歳牝馬オープン）

単勝 1 番人気のキサラククが優勝。牡馬混合の A-1 戦で好勝負を演じてきた実力をいかに発揮し、重賞初制覇を果たしました。

馬場水分は 5.0%と軽めで、道中もやや速めのペース。各馬とも 2、3 度脚を止めましたが、ほぼ横一線のまま進み、障害前でわずかにアアモンドセブンが抜け出す形で勝負どころを迎えました。

最初に仕掛けのは、そのアアモンドセブン。一気に天板近くまで駆け上がると、他馬も登坂を開始します。その間にアアモンドセブンが先頭で障害を突破。1 馬身ほどの差でキサラクク、センゴクイチが続き、やや離れてメモリアルサマー、アサヒメイゲツが追撃態勢に入りました。先頭の 3 頭は横並びでしたが、残り 30 メートル付近でアサヒメイゲツが追いつき、4 頭による争いに。しかし、それを合図としたかのようにキサラククがグングン加速して、3 頭を突き放しにかかります。その後も確かな脚いろで歩き続け、結局 3 秒 2 の差をつけ、キサラククが先頭でゴールを果たしました。

2 番手追走のアサヒメイゲツが残り 5 メートルでストップし、結果 2 着はアアモンドセブン。1 秒差の 3 着にセンゴクイチが入りました。障害でいったん前のめりになったキサラククでしたが、終始落ち着いたレースぶりが光りました。特に障害を下りてからアサヒメイゲツが迫ったところで、もう一段高いギアに入ったあたり、奥の深さも感じさせました。障害には多少の不安を残しているものの、今後も牝馬戦線での活躍が期待できそうです。2 着のアアモンドセブンは終始レースをリードしながら、最後までしぶとい粘りを見せました。その先行力は今後も武器となりそうで、軽馬場の際にはまた上位争いを演じてくれるに違いありません。

◆ 第 35 回チャンピオンカップ（4 歳以上重賞競走優勝馬）

単勝 2 番人気のキタノタイショウが優勝。重賞 9 勝目を挙げ、ばんえい記念の有力馬として名乗りを上げました。

6 頭立てと少頭数ではありますが、力の拮抗したメンバー構成。馬場水分も 1.3%と力の要る馬場となり、各馬の出方に注目が集まりました。インフィニティーが先手を奪ったものの、ほとんど横一線で推移。パワー優先の馬場だけに、各馬ゆったりと進んで、一団のまま第 2 障害を迎えました。

最初にホリセンショウが仕掛け、インフィニティーも登坂を開始しますが、思ったほど掛かりは良くなく、天板前でストップ。その間にじっくりためていた最低人気のトレジャーハンターが一気に駆け上がり、先頭で障害を突破します。同じく脚をためていたキタノタイショウと、立て直したインフィニティーが 2 番手でクリアし、やや離れてホクショウダイヤとホリセンショウ。1 番人気のニュータカラコマは取り残され、最後尾となりました。逃げていたトレジャーハンター

は残り30メートル付近でキタノタイショウに捕まりますが、併せ馬の状態となり、しぶとい粘りを発揮。残り10メートル付近まで、これに食い下がります。しかし、最後はキタノタイショウが底力の差を見せつけて突き放し、4秒1の差をつけて先頭でゴールを果たしました。トレジャーハンターは完全に脚が上がっていたものの、最後まで粘り通して2着。懸命に脚を伸ばしたホクショウダイヤが3着に入りました。

勝ったキタノタイショウは帯広記念2着に続く好成績で、着実に調子を上げてきた印象。昨年のばんえい記念は3着と、1トンの重量にも対応できるだけに、大一番への期待が高まる勝利となりました。ばんえいを背負って立つ存在となれるか、ばんえい記念でのレースぶりに注目です。2着のトレジャーハンターは重量に恵まれた面もありますが、抜群のかけを見せたうえ、しまいに示したしぶとい粘りからも、デキが上向いている印象です。今後も状態と相手関係が噛み合えば、タイトル奪取のチャンスも十分にありそうです。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。